

2016年3月期 第3四半期決算について



本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・ 評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

※ 本資料中の「E」は記載の数値が計画または業績予想であることを表しています。

## 2016年3月期第3四半期 ハイライト





- ●増収増益決算 営業収益は6期連続増収の過去最高収益

▶ 海外売上高 : 対前年+2.735億円

▶海外営業利益\*1 : 対前年+89億円

▶ セキュリティサービスの競争力強化

•NTT Com Securityの完全子会社化に向けた交渉開始



- ネットワークサービスの収益力強化
  - > ユーザ基盤の拡大

モバイル契約数 : 6.960万(純増+301万)

•FTTH契約数 : 1.916万(純増+44万)

(再)コラボ光 : 348万 (新規+51万、転用+270万)

➤ Wi-Fiエリアオーナー数の拡大\*2: 322(対前年度末+167)

⇒ コスト削減(固定/移動アクセス系) : 対前年▲3.460億円の削減

<sup>\*1</sup> 買収に伴う無形固定資産の償却費等、一時的なコストを除いた営業利益

<sup>\*2</sup> 小規模飲食店等を除く、大手企業ユーザ・自治体の顧客数

### 2016年3月期第3四半期 連結決算の概況



- 営業収益は、6期連続増収の過去最高収益
- ♥ 営業利益は、地域通信及び移動通信セグメントのコストコントロール等により増益
- 四半期純利益は、営業利益の増益に加え、税制改正の影響等により増益

(単位:億円)

	2016年3月期 第3四半期実績		2015年3月期 第3四半期実績	2016年3月期 通期業績予想	2016年3月期 第3四半期実績	
		対前年同期増減額	対前年同期増減率	お0日十州大阪	<b>应</b> 例未限了心	進捗率
営 業 収 益	84,954	+3,128	+3.8%	81,825	114,000	74.5%
営業費用	73,688	+972	+1.3%	72,716	101,500	72.6%
営業利益	11,266	+2,156	+23.7%	9,109	12,500	90.1%
四半期(当期)純利益※	6,041	+1,541	+34.3%	4,499	6,550	92.2%

※四半期(当期)純利益は、当社に帰属する四半期(当期)純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

## 連結決算及び業績予想について(米国基準) セグメント別の状況

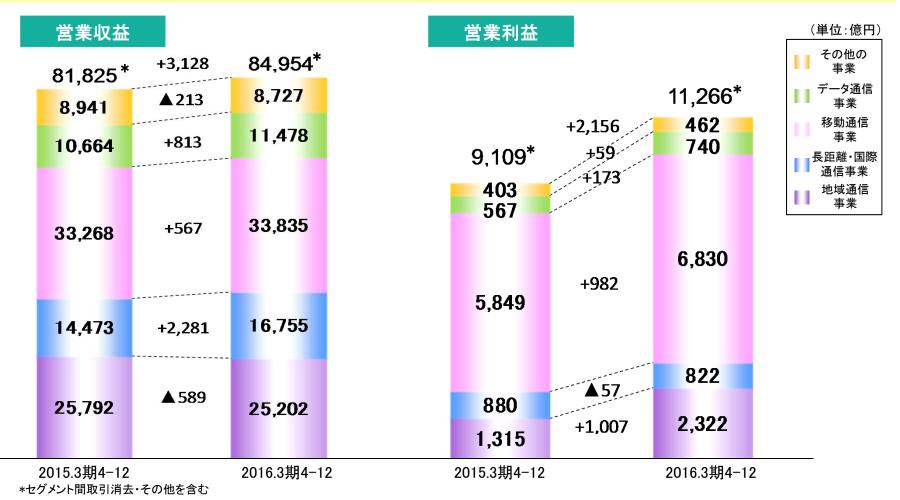


: 減収傾向は続いているものの、マーケティングコストの削減等により過去最高益 ●地域通信

●長距離・国際通信:海外ビジネスの成長及び成長分野への先行投資等により増収減益

: モバイル通信サービス収入に加えスマートライフ領域及びドコモ光による増収や、 投資効率化による償却費の減及びコスト効率化の取組みにより増収増益 ●移動诵信

♥データ通信 :売上拡大に伴い増収増益



## 2016年3月期 通期個別業績予想



■ NTTドコモ株式の売却及びNTT東日本からの配当に伴い、持株会社の業績予想を修正

(単位:億円)

	2016年 通期個別	(参考) 前回発表予想	
	今回修正予想	対前回増減	(2015.11.6)
営業収益	5,290	+1,000	4,290
営業費用	1,380	_	1,380
営業利益	3,910	+1,000	2,910
当期純利益	6,810	+3,930	2,880

## 株主還元



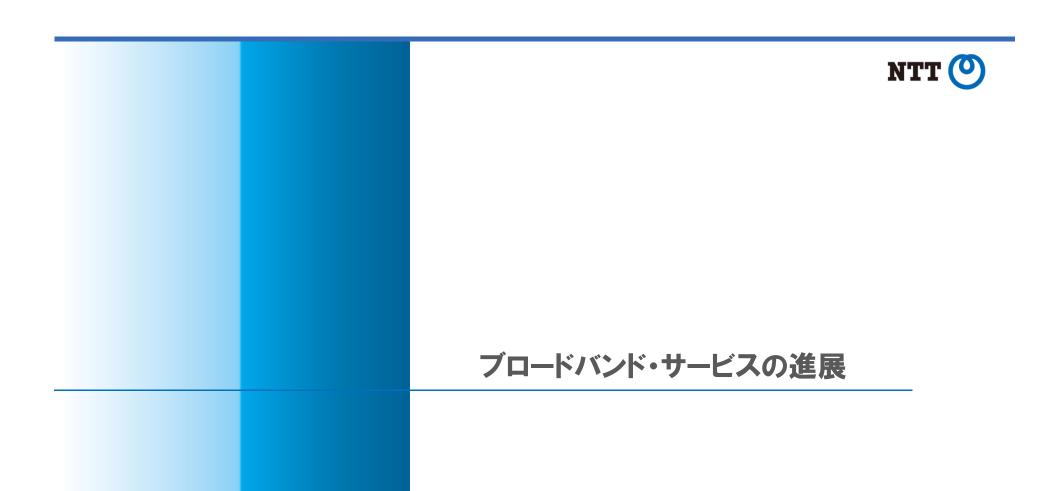
●自己株式取得:2016年3月期は、936億円の自己株式を取得済

●配 当:2016年3月期は、期末配当を年度当初の配当予想から10円増額の60円

とし、年間1株当たり110円の配当

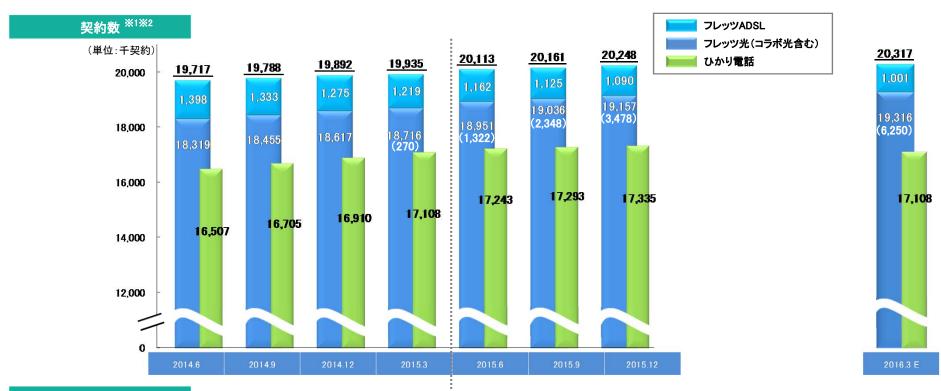






## プロードバンド・サービスの進展 固定ブロードバンドの契約数





	- Ale May P	201 44 144	Zamba Steel
- उत्ते ह्या	四半期,	引知博	(海)称
נינו ניי		いいかにつる	(1154) 3人

	契約)
2015.3期 2016.3期 2016.3期 2016.3期	月
4-6 7-9 10-12 1-3 4-6 7-9 10-12 3Q累計 通期実績 通期予想	思
フレッツ光(コラボ光含む)※1 269 136 162 99 235 85 121 442 665	600
<b>開通数※</b> 3 879 683 684 720 810 559 580 1,950 2,966 2,	750
עניט ד ADSL	218
ひかり電話※4※5 251 199 204 198 135 50 42 227 852	0

- ※1 フレッツ光(コラボ光含む)は、NTT東日本のBフレッツ、フレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライト及びフレッツ 光WiFiアクセス、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン、 フレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライト及びフレッツ 光WiFiアクセス、並びにNTT東日本およびNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービス(コラボ光)を含めて記載しております。
- ※2 NTT東日本およびNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービス(コラボ光)契約数を()内に記載しております。
- ※3 開通数は移転による開通分を除いて記載しております。
- ※4 ひかり電話は、NTT東日本およびNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービスを含めて記載しております。
- ※5 ひかり電話は、チャネル数(単位:千)を記載しております。

# プロードバンド・サービスの進展 移動ブロードバンドの契約数

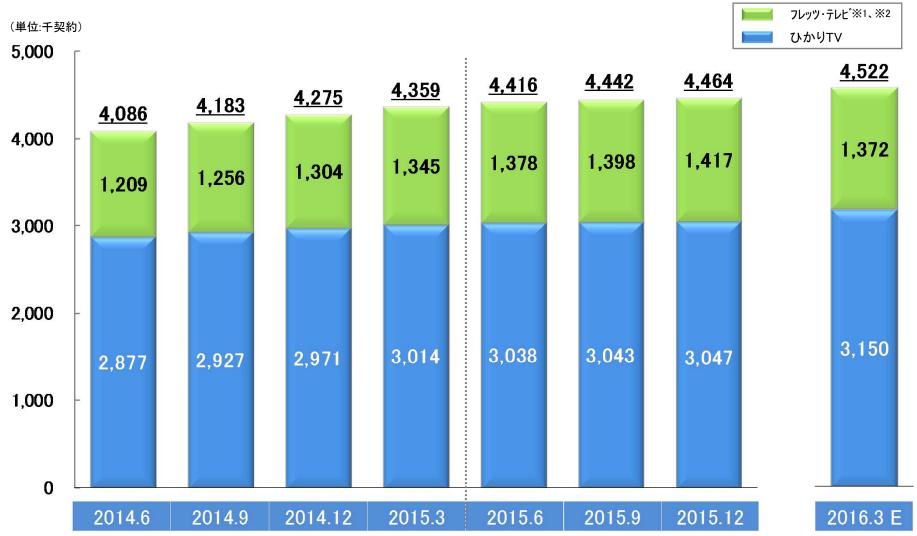




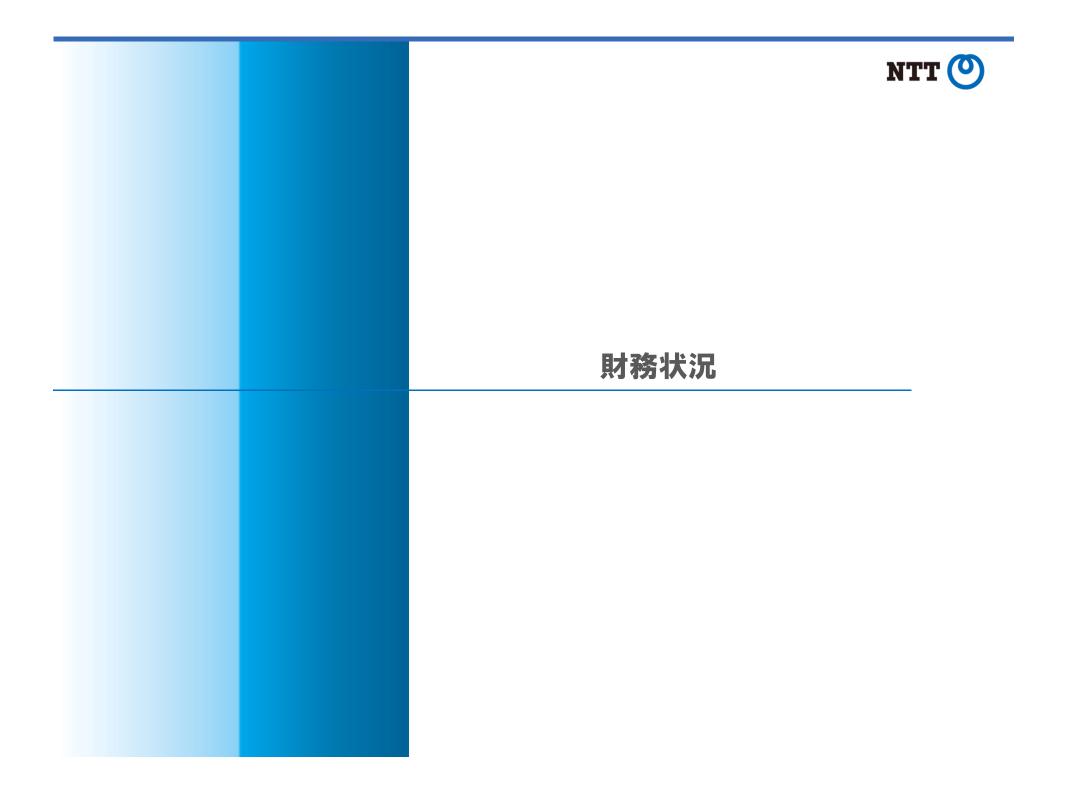
<sup>※</sup> 通信モジュールサービス契約数は移動ブロードバンド契約数に含めて記載しております。

## プロードバンド・サービスの進展 映像サービスの契約数





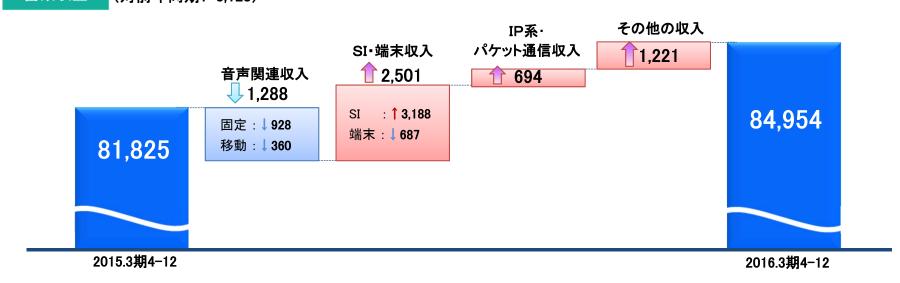
※1「フレッツ・テレビ」はNTT東西の「フレッツ・テレビ伝送サービス」の契約と、スカパーJSATの放送サービス「スカパーJSAT施設利用サービス」の契約により提供されるサービスです。 ※2「フレッツ・テレビ伝送サービス」は、NTT東日本及びNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービスを含めて記載しております。



## 連結損益計算書の状況



営業収益 (対前年同期:+3,128) (対前年同期:+3,128)



#### 営業費用

(対前年同期:+972)



### 連結貸借対照表の状況



#### 2015年3月期末

#### 2016年3月期第3四半期末

#### 20兆7,024億円

20兆7,494億円

### 資産

20兆7.024億円

受取手形及び売掛金 2兆6,630億円

> 棚卸資産 3,905億円

減価償却資産 (有形固定資産) 8兆977億円

営業権 1兆1.862億円

#### 負債

9兆6.243億円

買掛金 1兆5,796億円

有利子負債4兆4,067億円

未払退職年金費用 1兆3,880億円

その他 283億円

#### 資本

11兆498億円

利益剰余金 5兆1,267億円

自己株式 ▲4.977億円

#### 資産

20兆7,494億円

(+470億円)

受取手形及び売掛金 2兆7,948億円

(+1,318億円)

棚卸資産 4,858億円

(+953億円)

減価償却資産 (有形固定資産) 7兆8,510億円

(▲2,467億円)

営業権 1兆2,603億円 (+742億円)

#### 負債 9兆3,518億円

(▲2,725億円)

買掛金 1兆1,897億円

(▲3,899億円)

有利子負債 4兆4,462億円 (+395億円)

未払退職年金費用

1兆4,336億円 (+456億円)

その他

500億円(+217億円)

資本

11兆3,476億円

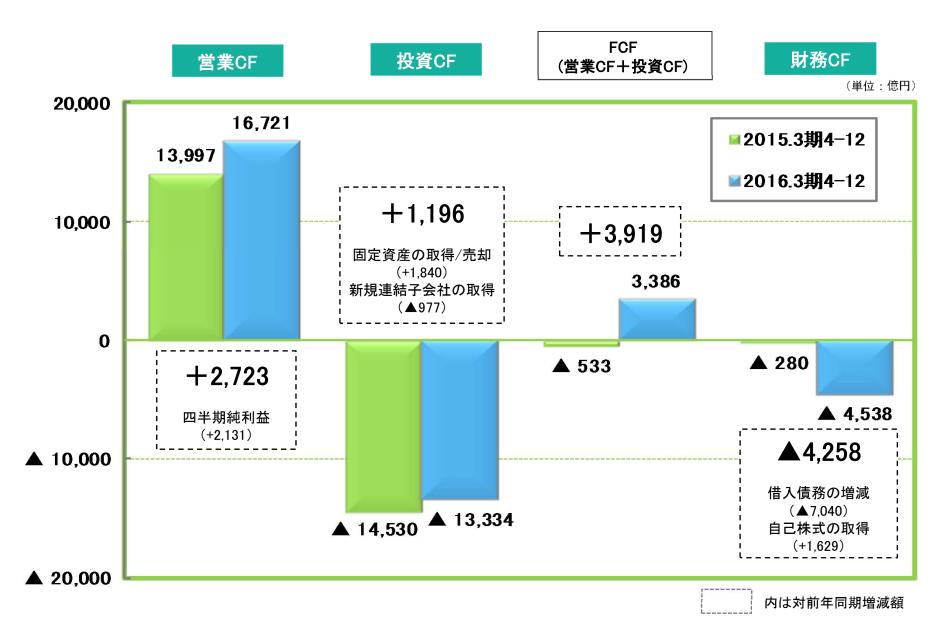
(+2,978億円)

利益剰余金 4兆9,406億円 (▲1,861億円)

自己株式 ▲8億円 (+4.969億円)

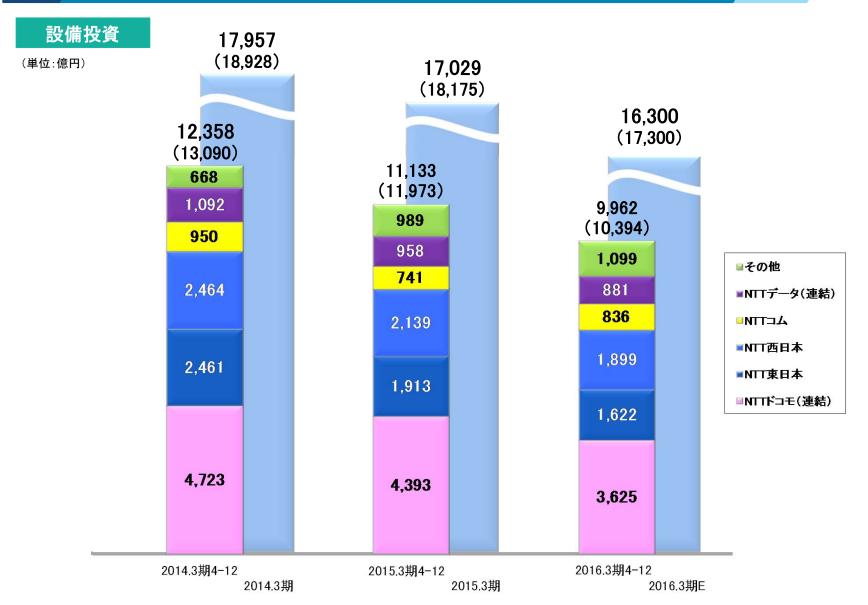
## 連結キャッシュ・フローの状況





## 設備投資額の状況





※ ( )内の数値は、不動産及び太陽光発電事業関連の投資額を含めた数値。